

vol.3 愛・変容

2024年10月8日(火) 19:00 紀尾井ホール

Tuesday, October 8, 2024 at 7 p.m. Kioi Hall, Tokyo

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第 30 番 ホ長調 op.109
Beethoven: Piano Sonata No. 30 in E major op. 109

矢代秋雄: ピアノ・ソナタ
A.Yashiro: Piano Sonata

シューマン: ピアノ・ソナタ第 3 番 へ短調 op.14
Schumann: Piano Sonata No. 3 in F minor op. 14

小菅 優

“ソナタ・シリーズ”

Yu Kosuge “Sonata Series”

全席指定 一般¥6,000(両公演とも) 学生¥3,000
※学生券はカジモト・イープラスのみの取扱い ※未就学児入場不可

Vol.3 一般発売 2024年6/15(土) 10:00~

Vol.4 発売日未定

*決まり次第、KAJIMOTOのwebサイト等で発表させていただきます。

カジモト・イープラス 050-3185-6728

オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。

kajimotoeplus.com

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Vol.3 Pコード 272-522)

(Vol.4 Pコード 272-523)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

主催: KAJIMOTO

協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

スクリャービン: ピアノ・ソナタ第9番「黒ミサ」
Scriabin: Piano Sonata No. 9 “Messe noire”

藤倉大: ピアノ・ソナタ (委嘱日本初演)

D. Fujikura: Piano Sonata (Japan premiere)

ベルク: ピアノ・ソナタ op.1

Berg: Piano Sonata op. 1

リスト: ピアノ・ソナタ 口短調

Liszt: Piano Sonata in B minor

2025年3月28日(金) 19:00 紀尾井ホール

Friday, March 28, 2025 at 7 p.m. Kioi Hall, Tokyo

神秘・魅惑 vol.4



ソナタ・シリーズもついに折り返し地点に・・・。

第3回と第4回はそれぞれ、形式において、感情においてのテーマがある。その上でこれらのソナタには、一つ一つの共通点よりも違いが際立っていると思う。

まず第3回「愛・変容」は、どのソナタにも変奏曲が入っていて、私にとって“愛”そのものを感じるソナタを3つ並べた。まずベートーヴェンの晩年の傑作、ソナタ作品109。そもそもホ長調という調性自体を私は愛と結びつけているが、作曲家が人生経験を積み重ねたがゆえに見える、透き通った愛の結晶のようなものを感じる。そしてこのソナタへの愛に満ちた(精神的影響を多く受け、ピアノ・ソナタの理想像だと書いている)矢代秋雄のソナタ。簡素な形式を用いている上、矢代氏の作品からはいつも“歌”を感じる。

シューマンのソナタ第3番は、後に妻となるクララと恋仲にあった中で、クララの父に別れさせられ、離れ離れになっていた一年半の間に書かれた。作品全体にわたってクララの書いたアンダンティーノのモチーフを使い、彼の寂しさを熱く訴えるような情熱に加えて、内面的な繊細さも持つ素晴らしい作品だ。

そして、皆様に秘密を打ち明けよう。以前から一度ちょっと危ないリサイタルをしてみたかった。全部が単一楽章というサブテーマもあるが、いきなりお客様に恐怖を感じさせるリサイタルだ。それこそが第4回「神秘・魅惑」。

スクリャービンのソナタ第9番「黒ミサ」で思い浮かぶのは、それまでの作品の色彩とエクスタシーとは異なる悪夢、倒錯、暗黒。そして藤倉大のソナタが続く。これまでに演奏してきた大さんの作品から私がまず思いつくのは官能と美しいハーモニーだが、この作品には何だかダークなところも垣間見えると思う。

そしてベルクの悲観的でエクスタシーに溢れる感情的な口短調のソナタに続き、同じ調性のリストのソナタ。この大曲はゲーテの「ファウスト」のストーリーとよく結びつけられるが、やはり悪魔や誘惑の炎が迸る。でも“悪”には“善”も伴い、暗黒の世界にも希望があるのではないだろうか？



小菅 優

小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, Piano

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤らの指揮でBBC響やNDRエルプフィルと共演。10年ザルツブルク音楽祭でポゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。14年に第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、17年に第48回サントリー音楽賞受賞。録音は、ソニーから発売している『藤倉大：ピアノ協奏曲<インパルス>&WHIM/ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博したほか、様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」にも取り組む。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト“ソナタ・シリーズ”を始動。

ベネディクト・クレックナー & 小菅 優

Benedict Kloeckner,
Yu Kosuge

ブラームスの滋味あふれるふたつのチェロ・ソナタを実力派ふたりの演奏で聴く。



ブラームス：チェロ・ソナタ (第1番ホ短調作品38 & 第2番ヘ長調作品99)

【演奏】ベネディクト・クレックナー (チェロ)、小菅 優 (ピアノ)
【録音】2021年7月20-23日 SWRスタジオ カイザースラウテルン

ベルリンを拠点に世界で活躍するピアニスト、小菅優。大指揮者サイモン・ラトルやダニエル・バレンボイムからも愛されるドイツの若きチェリスト、ベネディクト・クレックナーがじっくり取り組んだブラームスの滋味あふれるチェロ・ソナタ2曲。ブラームスが30代前半で作曲した冷峻な印象を聴き手に与える第1番と、それから21年後、交響曲第4番も書き終えたあとの創作後期に書かれた明るく男性的な第2番。作曲された時期も性格も違うこの2曲を、小菅とクレックナーはその世界を慈しむようにじっくりと歌い上げていきます。

絶賛発売中   48kHz/24bit ハイレゾ配信中
定価 ¥2,860 (税抜価格 ¥2,600)
CD ● SICX30179

Sony Music Japan
International



- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- ご来場の皆様に安心して聴きただけいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO

〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1
東海堂銀座ビル5階
kajimotomusic.com

 YouTube “kajimotomusic” で検索!

 @kajimoto_News

 @kajimotomusic